

# 『ふくまくぎねんえきしゅ腹膜偽粘液腫』という病名を聞いたことありますか

臓器の隙間にゼリー状の粘液がたまる病気です。

発症すると多くは腹部にゼリー状の水が溜まっていき、妊婦のようなお腹になってしまいます。やがて塊ができると臓器を圧迫、栄養失調や腸閉塞などの深刻な状態、ときには死に至る病気を併発することもあります。

治療法としては、外科手術が一般的ですが、この病気を手掛けた外科医はほぼおらず、手に負えず、患者自身が手探りで病院を探さなければいけなくなっています。

## 発症の原因は不明で、完治する治療法は見つかっていません!!

根本的な治療法を発見するには、「**難病認定**」を受け研究を促進させるしかありません

難病認定…特定疾患と認められ、一部または全部について国と都道府県による公的な助成金を受けられる。  
また研究予算ができるため、病気の解明・治療法の研究が進められる。

参考 HP : 「福岡県立香椎高等学校同窓会 “香綾会”」 「腹膜偽粘液腫患者支援の会」

腹膜偽粘液腫の難病認定のため、「福岡県民新聞社」も署名活動に協力致します。



「100万人に1人の病気になって」 文芸社より  
2012年2月1日出版 1500円（税別）



### 浦野里美さん談

「私は生かされている。“やり残したことがある”と言われている気がして、

それがこういう（難病認定を求める）活動ではないかと思う」

「生かされている事に感謝して、

この病気になったからこそできる事をしていきたいと思います」